

京田辺市行政改革実行計画
〔 フォローアップ計画 〕
の取組結果

京都府京田辺市

平成28年5月

目 次

1. 京田辺市行政改革実行計画（フォローアップ計画）について	1
2. 実行計画（フォローアップ計画）が目指したもの	1
3. 実行プログラムの取組結果	2
4. 実施した主な実行プログラム	5
5. 進行管理表	13

1. 京田辺市行政改革実行計画（フォローアップ計画）について

京田辺市では、第3次京田辺市総合計画に掲げる諸施策を着実に推進するため、行政改革に取り組んでおり、平成25年5月に「行政改革実行計画（フォローアップ計画）」（計画期間は、平成25年度から平成27年度までの3年間）を策定したところです。

この計画を総合的かつ組織的に推進していくために、「京田辺市行政改革推進本部」において、毎年度、その進捗状況や成果を把握しながら進行管理を行ってきました。

計画期間である平成25年度から平成27年度までの間に実施した各実行プログラムの取組結果についてまとめましたので、その概要を報告いたします。

2. 実行計画（フォローアップ計画）が目指したもの

この計画は、「新京田辺市行政改革大綱」の理念を踏まえ、次の3つの項目の推進を目指しました。

① 市民と行政とのパートナーシップの構築

- ・ 市民参画や協働の促進、支援のための仕組みづくり
- ・ まちづくりを支える人づくり
- ・ 広報、広聴機能の充実
- ・ 積極的な情報公開等

② より質の高い行政サービスの提供

- ・ 窓口サービスの向上
- ・ サービスの公平性の確保と受益者負担の見直し

③ 効率的な行財政運営

- ・ 自主財源の確保（収納率の向上、市有財産の活用、税源の確保）
- ・ 歳出の抑制（歳出の削減、公共施設の長寿命化による修繕コスト縮減）
- ・ 事務事業の効率化、適正化
- ・ 民間委託等の推進
- ・ 職員の能力を発揮できる環境づくり

3. 実行プログラムの取組結果

(1) 概要

計画期間(平成25年度から平成27年度までの3年間)における取組結果は、行動計画を完了した実行プログラムが49件、一部完了した実行プログラムが6件となりました。

「市民と行政とのパートナーシップの構築」の取り組みでは、玉露のまち京田辺のPR・知名度の向上をはじめ、総合型スポーツクラブや自主防災組織等の育成などについて市民とともに協働した結果、まちづくりを支える人づくりが推進されたとともに、ツイッターやフェイスブックの活用により広報機能が充実し、会議の公開指針の策定で情報公開制度が一層進み、市政の透明性が高まりました。

また、「より質の高い行政サービスの提供」の取り組みでは、インターネット公共施設予約システムの導入を一部施設で開始したほか、税・住基・福祉系の基幹情報を京都府共同化システムに移行するなど窓口サービスを向上させました。

さらに、「効率的な行財政運営」の取り組みでは、市税や各種使用料等の徴収率の向上をはじめ、起業家育成支援など産業振興や雇用拡大に努め、自主財源を確保するとともに、公共施設の長寿命化による修繕コストの縮減に取り組み、歳出の抑制に努めました。

このように本計画は、「量」的な削減から「質」的な向上へと重心を移しながら、市民協働などにも重点をおいたプログラムを幅広く実施した結果、「第3次京田辺市総合計画」の目指すまちづくりの推進に資することができました。

なお、一部完了や完了となったプログラムでも引き続き取り組みが必要なものについては、次期計画や通常業務の中で取り組むこととしました。

項目	実行 プログラム	行動計画の取組結果	
		完了	一部完了
市民と行政とのパートナーシップの構築	19	16	3
より質の高い行政サービスの提供	9	7	2
効率的な行財政運営	27	26	1
合計	55	49	6

(2) 実行プログラム一覧及び取組結果

項 目		コード	実行プログラム	取組結果
①市民と行政とのパートナーシップの構築	市民参画や協働の促進、支援のための仕組みづくり	1	市民からの声のデータベース化と活用	完了
		2	市民活動中核施設機能の内容検討	完了
		3	市民参画のための仕組みづくり	一部完了
		4	市政協力員制度の検証	一部完了
		5	審議会等における市民参画の推進	一部完了
	まちづくりを支える人づくり	6	市民活動講座の開催	完了
		7	国際交流、国内交流の推進	完了
		8	子ども遊び場情報誌の作成	完了
		9	市民との協働による道路、緑地等の管理の推進	完了
		1 0	市民等との協働による京田辺玉露のブランド形成	完了
		1 1	遊休荒廃農地の解消と発生防止	完了
		1 2	ボランティアの登用と人材バンクの活用	完了
		1 3	総合型スポーツクラブの育成	完了
		1 4	自主防災組織等の育成指導	完了
	広報、広聴機能の充実	1 5	広報機能の充実	完了
		1 6	広聴機能の充実	完了
		1 7	広報紙配布方法の検討	完了
	積極的な情報公開等	1 8	情報公開制度の充実	完了
		1 9	電子情報のセキュリティ強化	完了
②より質の高い行政サービスの提供	窓口サービスの向上	2 0	窓口サービスの拡大	完了
		2 1	インターネット公共施設予約システムの導入	完了
		2 2	窓口業務の時間延長	完了
		2 3	だれもが利用しやすい消防サービスの充実	完了
		2 4	電子市役所の推進	完了
	サービスの公平性の確保と受益者負担の見直し	2 5	各種手数料の新規徴収	完了
		2 6	ごみ処理手数料の見直し	完了
		2 7	下水道使用料の見直し	一部完了
		2 8	市内駐輪場の有料化検討と無料駐輪場の適正使用	一部完了

取組項目			コード	実行プログラム	取組結果
③ 効率的な行財政運営	自主財源の確保	収納率の向上	29	市税収納率の向上	完了
			30	国民健康保険税収納率の向上	完了
			31	後期高齢者医療保険料収納率の向上	完了
			32	保育所保育料収納率の向上	完了
			33	介護保険料収納率の向上	完了
			34	市営住宅使用料徴収体制の強化	完了
			35	幼稚園保育料収納率の向上	完了
		市有財産の活用	36	普通財産の活用方針作成と処分	完了
			37	保留地処分の推進	完了
		税源の確保	38	企業誘致と中小企業支援	完了
			39	産、学、官による新たなビジネスモデルの育成	完了
	歳出の抑制	歳出の削減	40	消耗品の削減と一元化	完了
			41	エコオフィスの推進	完了
		公共施設の長寿命化による修繕コスト削減	42	橋梁、公園の修繕コスト削減	完了
			43	市営住宅の修繕コスト削減	完了
			44	公共下水道の修繕コスト削減	完了
	事務事業の効率化、適正化		45	農業集落排水の公共下水道への接続検討	完了
			46	市立幼稚園のあり方検討	完了
			47	文書管理の適正化	完了
			48	行政評価の充実	完了
			49	ごみ処理後継施設の検討	完了
	民間委託等の推進		50	ごみ収集処理体制の検討	完了
			51	指定管理者制度の導入検討	一部完了
	職員の能力を発揮できる環境づくり		52	各種手当の見直し	完了
			53	職員提案制度等の推進	完了
			54	人事評価制度の実施	完了
			55	接遇マニュアルの改訂	完了

4. 実施した主な実行プログラム

計画期間（平成25年度から平成27年度までの3年間）に実施した主なプログラムを紹介します。

① 市民と行政とのパートナーシップの構築

- ・ 市民参画や協働の促進、支援のための仕組みづくり

市民からの声のデータベース化と活用

【コードNo. 1】

市民からの提案や要望等、寄せられた声をデータベース化し積極的に活用するため、ホームページでの質問コーナーを随時更新しました。

また、市政ご意見箱、広報紙アンケート、市政eモニター、茶っとサロン等に寄せられた市民の声について、庁内での情報共有を行いました。



- ・ まちづくりを支える人づくり

国際交流、国内交流の推進

【コードNo. 7】

市民同士の草の根交流を目的として、国際交流や国内交流（特に霧島市、習志野市との交流）を推進しました。

平成26年度には本市「花見ウォーク」で各市の物産展を開催するとともに、習志野市制60周年記念行事で本市の特産品を販売しました。国際交流員（CIR）によるイベント等を中心とした国際交流を含め、様々な交流を促進しました。



習志野市での活動の様子

子ども遊び場情報誌の作成

平成25年度に同志社大学生らが中心となって、子育て中の方や子育てを支援する市民の方々と協働で、市内の遊び場の調査などを行い、「遊び場マップ」を作成しました。

このマップは、児童館や市役所等の公共施設で配布し、市ホームページにも掲載するなど、積極的に活用しました。

【コードNo. 8】



市民等との協働による京田辺玉露のブランド形成

全国茶品評会での産地賞奪還に向けて、出品対策研修会の開催や茶園の巡回強化、さらには出品奨励金の交付により生産者の支援を行いました。

また、茶摘みボランティア派遣事業での農作業体験を通じて、茶業関係者以外の方にも「玉露のまち京田辺」をPRし、知名度の向上に努めました。

【コードNo. 10】



総合型スポーツクラブの育成

同志社大学の施設・人材を活かしスポーツを通して明るく活気ある地域づくりを目指す「京たなべ・同志社スポーツクラブ」を育成する目的で、学びの情報誌や広報紙に所属サークルへの参加募集記事を掲載しました。

また、市ハンドボール交流大会等において所属チアサークルの演技発表の場を提供しました。

【コードNo. 13】



- ・ 広報、広聴機能の充実

広報機能の充実

広報機能の充実策として、市独自の特集記事掲載など魅力ある広報紙づくりとともに、ホームページの充実のため職員向けの操作研修を行いました。

また、あわせて即時性の高いツイッターやフェイスブックなどを活用して取材情報等の発信や施策のPRなどを積極的に展開しました。

【コードNo. 15】



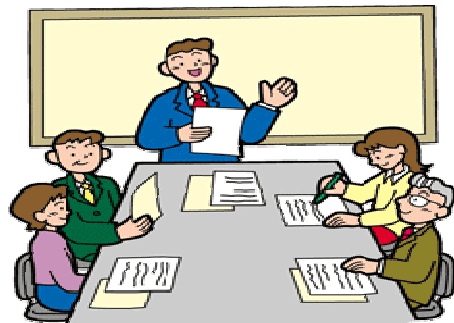
- ・ 積極的な情報公開等

情報公開制度の充実

市役所で行われる各種会議の公開指針を整備し、ホームページへの公開要領を策定するとともに、公開の対象となる会議について、実施予定の確認を随時行いました。

また、市役所2階に設置している行政資料コーナーについて、利用者が検索しやすいように分野別に整理しました。

【コードNo. 18】



電子情報のセキュリティ強化

コンピュータのネットワーク化と普及が進み電子情報が増加している中で、情報管理、監視体制の強化を図りました。

平成26年度には、指静脈による生体認証システムの本格運用を開始するとともに、不正接続防止関連機器の更新を行うなど、情報セキュリティの一層の強化を図りました。

【コードNo. 19】



② より質の高い行政サービスの提供

- ・ 窓口サービスの向上

インターネット公共施設予約システムの導入

公共施設の利用申込をする際に、わざわざ公共施設まで出向かなくてもインターネットに接続したパソコンや携帯端末、街頭端末から利用申込ができるよう、一部公共施設においてインターネット公共施設予約システムを導入しました。

【コードNo. 2 1】



電子市役所の推進

電子市役所推進の一環として、税・住基・福祉系の基幹情報を京都府共同化システムに移行するとともに、財務会計システムを更新しました。

これにより、制度改正への迅速な対応や事務の効率化など、より質の高い行政サービスを提供するための基盤づくりを推進しました。

【コードNo. 2 4】



- ・ サービスの公平性の確保と受益者負担の見直し

ごみ処理手数料の見直し

一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、「粗大ごみ」「持込ごみ」の有料化をごみ減量化重点施策として位置づけ、有料化のための制度設計を行いました。

また、平成28年10月の有料化の実施を目指し、条例改正を行いました。

【コードNo. 2 6】



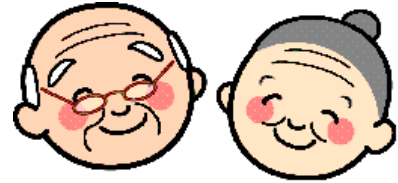
③ 効率的な行財政運営

- ・ 自主財源の確保（収納率の向上、市有財産の活用、税源の確保）

介護保険料収納率の向上

介護保険料の収納率の向上を目指し、老人福祉センター常磐苑及び宝生苑、三山木福祉会館において、納付相談を実施するとともに、未納者への戸別訪問を随時実施し、自主財源の確保に努めました。

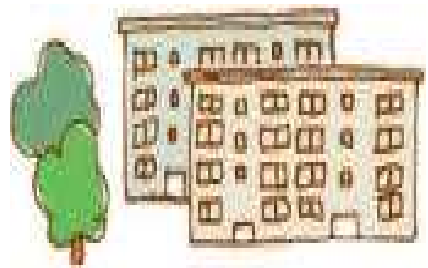
【コードNo. 3 3】



市営住宅使用料徴収体制の強化

市営住宅使用料の徴収率の向上を目指し、滞納整理のためのマニュアルに基づき、電話や訪問による督促や納付相談等を実施し、自主財源の確保に努めました。

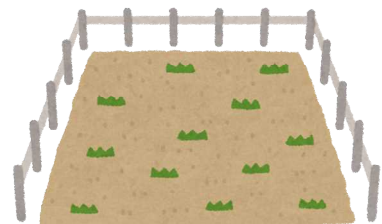
【コードNo. 3 4】



保留地処分の推進

三山木区画整理事業で生み出した保留地について、保留地処分に関する規則に基づき、一般競争入札により売却し、財源の確保に努めました。

【コードNo. 3 7】



産、学、官による新たなビジネスモデルの育成

【コードNo. 3 9】

本市に立地する同志社大学等の知的資源の有効活用や産学連携の一環として、産学連携コーディネーターを活用して企業訪問や技術相談を行いました。

またあわせて、起業家支援施設（D-egg）入居者やD-egg退去後に市内へ立地した企業へのサポートも行うなど、雇用拡大、地域活性化に努めました。



起業家支援施設 D-egg

- ・ 歳出の抑制（歳出の削減、公共施設の長寿命化による修繕コスト削減）

エコオフィスの推進

【コードNo. 4 1】

地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設の温室効果ガスの排出量を削減、エコオフィス化に努めました。

庁内対策検討会議を中心に、夏と冬のエコスタイルキャンペーンをはじめ、各施設のグリーンカーテンの栽培、ひと涼みスポットの設置、夏季庁舎ライトダウンによる省エネ・節電を実践しました。



市庁舎グリーンカーテン

橋梁、公園の修繕コスト削減

【コードNo. 4 2】

従来の事後的な橋梁や公園の修繕、架け替えから、予防的な修繕、計画的な架け替えへ転換を図ることでライフサイクルコストの削減を図るため、橋梁及び公園の長寿命化修繕計画を策定しました。

計画に基づき、橋梁12橋の修繕設計、うち5橋につき修繕工事を行うとともに、市内13公園の遊具更新を行いました。



公共下水道の修繕コスト縮減

【コードNo. 4 4】

下水道施設については、事故の防止とライフサイクルコストの最小化を考慮した計画的な工事を実施する必要があります。

そのため、公共下水道の長寿命化修繕計画を策定するとともに、松井ヶ丘地区及び同志社住宅地区において公共下水道の長寿命化詳細設計を実施しました。



- ・ 事務事業の効率化、適正化

文書管理の適正化

【コードNo. 4 7】

平成25年度に行政文書のデータベース化、保存、管理及び廃棄サイクル一元化のため、文書管理システムを導入しました。

また、平成26年度より本格実施し、文書事務の省力化と文書管理の適正化を推進しました。



ごみ処理後継施設の検討

【コードNo. 4 9】

ごみ焼却施設の老朽化に伴う更新については、平成26年度にごみ処理施設整備基本構想及び循環型社会形成推進地域計画を策定しました。

また、平成27年度にこれらの構想を具体化する可燃ごみ広域処理施設整備基本計画を策定しました。



環境衛生センター甘南備園焼却施設

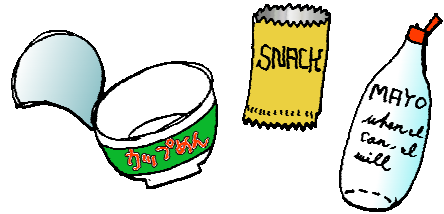
- ・ 民間委託等の推進

ごみ収集処理体制の検討

【コードNo. 5 0】

より持続可能な社会を目指し京田辺市内のごみ処理方法について、調査検討を行いました。

平成27年度には、京田辺市ごみ減量化推進審議会の答申を踏まえ、紙ごみやプラスチック容器包装の分別、粗大ごみの減量化、持込ごみの費用負担の見直しを4本の柱とする京田辺市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、制度設計を行いました。



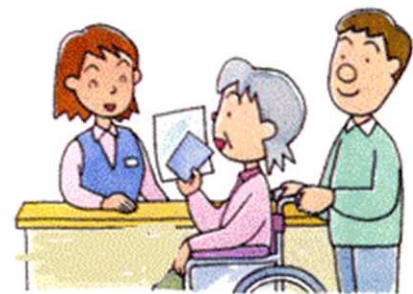
- ・ 職員の能力を発揮できる環境づくり

接遇マニュアルの改訂

【コードNo. 5 5】

平成25年度において、本市人材育成基本方針に基づき、接遇マニュアル改訂版を作成しました。

この改訂版を、庁舎内掲示板等を利用して周知することにより、あらゆる場面の接遇に対応できる職員の育成を目指します。



5. 進管理表

01 市民と行政とのパートナーシップの構築				01 市民参画や協働の促進、支援のための仕組みづくり			
所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
企画政策部	秘書広報課	1	市民からの声のデータベース化と活用	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの「よくある質問コーナー」の更新 ・市民からの声のデータベース化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの「よくある質問コーナー」の更新 ・市民からの声のデータベース化 	
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの「よくある質問コーナー」を随時更新した。 ・市政に活用できるよう、広報紙アンケート等を通じて市民から寄せられたご意見について、庁内での情報共有及び担当課での対応を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの「よくある質問コーナー」を随時更新した。 ・市政に活用できるよう、広報紙アンケート等を通じて市民から寄せられた意見について、庁内での情報共有及び担当課での対応を行った。 ・「市政ご意見箱」に寄せられた意見のうち、市政の改善につながる意見、提言をデータベース化し庁内で共有した。 <p>【完了】</p>	
市民部	市民参画課	2	市民活動中核施設機能の内容検討	行動計画	・施設機能の内容検討	・施設機能の内容検討	・検討結果のとりまとめ
				取組実績	・他市における複合施設の情報を収集した。	・他市における複合施設の情報を収集した。	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設（市民活動・男女共同参画）に関する検討を行い、京田辺市公共施設等総合管理計画庁内検討会議にその必要性を提案した。 <p>【完了】</p>

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民部 市民参画課	3	市民参画のための仕組みづくり	・政策や施策の立案や実施、評価に至る過程に、市民が参画するための基本的な仕組みづくりを進める。	行動計画	・市民参画の対象となる施策の洗い出し	・市民参画対象施策の見直し検討	・「市民参画の手引き」作成による各種施策の周知
				取組実績	・他市の市民参画施策の情報を収集した。 ・本市の市民参画施策の状況と他市の情報を検証した。	・市民参画対象施策の見直し方向を検討した。	・（仮称）「市民参画の手引き」の作成に向けて協議を行った。 【一部完了】
市民部 市民参画課	4	市政協力員制度の検証	・市政協力員制度のあり方について検証し、必要に応じて見直しを行う。	行動計画	・市政協力員制度の検証	・市政協力員制度の検証	・必要に応じた制度の見直し案の作成
				取組実績	・過去に関係自治体を実施した市政協力員への依頼事項についての調査に関する資料等を基に検証した。	・過去の調査結果を基に、今後の方針について検討した。	・方針案について協議を行った。 ・市政協力員制度に関する検証を継続し、見直しに向けて検討を行う。 【一部完了】
市民部 市民参画課	5	審議会等における市民参画の推進	・計画の策定過程等に市民の声を一層反映させていくため、審議会や委員会等への市民参画を推進する。	行動計画	・市民参画実態調査	・市民参画実態調査 ・ヒアリングの実施	・ヒアリングを踏まえた市民参画実態調査 ・「市民参画の手引き」作成
				取組実績	・他市における市民参画実態調査を実施した。	・他市における市民参画施策について調査した。 ・市民公募委員の登用についてヒアリングを実施した。	・市民参画実態調査を実施した。 ・（仮称）「市民参画の手引き」の作成に向けて協議を行った。 ・審議会等の委員数のうち団体推薦を含む市民委員の割合は43.0%（前年比3.6%増）となった。 【一部完了】

所管 部 課		実行プログラム		区分	具体的な取り組み			
		コード	項 目		概 要	平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民部	市民参画課	6	市民活動講座の開催	・ これまで開催してきた市民活動講座を検証しながら必要に応じて改善を図る。	行 動 計 画	・ 検証結果を踏まえた講座の開催	・ 講座の開催	・ 講座の開催
					取 組 実 績	・ 市民団体の設立促進を図るため、市民活動の意義や事業計画の作成方法を学ぶ「市民活動はじめの一步実践講座」を開催した。 ・ 同講座の受講者が、市民活動団体を設立した。	・ 市民団体の設立促進を図るため、市民活動の意義や事業計画の作成方法を学ぶ「市民活動はじめの一步実践講座」を開催した。 ・ 同講座の受講者が、市民活動団体を設立した。	・ 市民団体の設立促進を図るため、市民活動の意義や事業計画の作成方法を学ぶ「市民活動はじめの一步実践講座」を開催した。 ・ 同講座の受講者が、市民活動団体を設立した。 ・ 市民活動の活性化を図るため、市民団体等の活動に必要な要素を学ぶ機会として「市民活動パワーアップセミナー」を開催した。 【完了】
市民部	市民参画課	7	国際交流、国内交流の推進	・ 国際交流、国内交流を推進する。	行 動 計 画	・ 市民同士による草の根交流の促進	・ 市民同士による草の根交流の促進	・ 市民同士による草の根交流の促進
					取 組 実 績	・ 京田辺国際交流協会への支援、国際交流体験補助金の交付、国際交流員によるイベント等により国際交流を推進した。 ・ 大住隼人舞保存会が霧島市で開催された「隼人舞の共演」に出演するとともに、「花見ウォーク」で霧島市、習志野市が物産展を開催するなど、国内交流に努めた。	・ 京田辺国際交流協会への支援、国際交流体験補助金の交付、国際交流員によるイベント等により国際交流を推進した。 ・ 「花見ウォーク」で霧島市、習志野市の物産展を開催し、習志野市制60周年記念行事で本市の特産品を販売するとともに、商工会による民間交流を推進するなど、国内交流に努めた。	・ 京田辺国際交流協会への支援、国際交流体験補助金の交付、国際交流員によるイベント等により国際交流を推進した。 ・ 習志野市の市民祭りで本市の特産品の販売を行い、本市の産業祭では、習志野市と喜多方市が特産品の販売などを行うとともに、習志野市の危機管理監が本市で防災に関する講演会を行うなど、国内交流に努めた。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
健康福祉部	子育て支援課	8	子ども遊び場情報誌の作成	行動計画	・情報誌を作成し、市民へ配布		
				取組実績	・情報誌を4,000部を作成した。地域子育て支援センターや児童館、市役所等で配布を行っている。 ・市ホームページに「遊び場マップ」のページを設けた。 【完了】		
建設部	施設管理課	9	市民との協働による道路、緑地等の管理の推進	行動計画	・すてきなまちなみ支援制度の運用 ・支援実施	・支援実施	・支援実施
				取組実績	・すてきなまちなみ支援制度を運用し、花の植替え等を行う団体等に対する支援を実施した。 ・支援先 薪和泉会 同志社山手園芸 サークルひまわり 田辺東幼稚園	・すてきなまちなみ支援制度を運用し、花の植替え等を行う団体等に対する支援を実施した。 ・支援先 薪和泉会 同志社山手園芸 サークルひまわり 田辺東幼稚園 きょうたなべ環境 市民パートナー シップ シードコンサルタ ント京都営業所 【完了】	・すてきなまちなみ支援制度を運用し、花の植替え等を行う団体等に対する支援を実施した。 ・支援先 薪和泉会 同志社山手園芸 サークルひまわり 田辺東幼稚園 きょうたなべ環境 市民パートナー シップ シードコンサルタ ント京都営業所 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
経済環境部	農政課	10	市民等との協働による京田辺玉露のブランド形成 ・茶摘みボランティアを育成する。 ・全国茶品評会での産地賞奪還に向けたPR活動を実施することで、茶産地としての京田辺市を市内外に発信し産地としての認知度を高める。 ・先進地視察を実施し、ブランド向上の検討委員会を立ち上げる。	行動計画	・全国茶品評会産地賞奪還に向けた茶農家への支援 ・ボランティアの育成 ・検討委員会の立ち上げ	・全国茶品評会宮崎県大会の結果を受けた今後の茶業振興の取り組みの検討 ・ボランティアの育成	・全国茶品評会静岡県大会の結果を受けた今後の茶業振興の取り組みの検討 ・ボランティアの育成 ・ブランド向上の取り組み ・「新お茶を考える会（仮称）」の立ち上げ、運営
				取組実績	・出品対策研修会、出品茶園巡回強化、出品材仕上げ作業の補助及び出品奨励金の交付等を行った。 ・「お茶を考える会」と協力し、茶摘みボランティア派遣を実施し、過去最高の参加者数を達成した。 ・8月末の全国茶品評会の結果をうけ、検討委員会の立ち上げについて検討を行った。	・出品対策研修会、出品茶園巡回強化、出品材仕上げ作業の補助及び出品奨励金の交付等を行った。 ・「お茶を考える会」と協力し、茶摘みボランティア派遣を実施した。（参加者数99人） ・8月末の全国茶品評会の結果をうけ、研修会を3回行った。	・出品対策研修会、出品茶園巡回強化、出品材仕上げ作業の補助及び出品奨励金の交付等を行った。 ・「お茶を考える会」と協力し、茶摘みボランティア派遣を実施した。（参加者数74人） ・8月末の全国茶品評会の結果をうけ、研修会を3回行った。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム		区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要	平成25年度	平成26年度	平成27年度
農業委員会事務局	11	遊休荒廃農地の解消と発生防止	<ul style="list-style-type: none"> ・農地全筆調査 ・遊休荒廃農地の所有者等に対して指導文の送付 ・遊休農地を新規就農者や意欲ある担い手へ結びつける農地バンク制度を活用する。 ・農地利用不能地については、適正管理のあり方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地全筆調査 ・指導文の送付 ・農地バンク制度の活用 ・農地利用不能地について、あり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地全筆調査 ・指導文の送付 ・農地バンク制度の活用 ・農地有効利用の施策の展開 ・農地利用不能地について、あり方を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地全筆調査 ・指導文の送付 ・農地バンク制度の活用 ・農地有効利用の施策の展開 ・農地利用不能地あり方検討結果のとりまとめ
				<ul style="list-style-type: none"> ・市内の農地の利用状況調査を実施し、適正な利用がされていない農地所有者等には是正指導を行った。 ・現況が山林化等により農地利用が不可能な農地の取扱いについて、近隣市に照会を行った。 ・農業委員会広報紙で農地バンク制度の案内周知を実施し、農地バンクへの登録農地を担い手へあつ旋した。 ・レモン定植による遊休農地の活用実証ほ場開設を通して、有効利用啓発活動を展開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の農地の利用状況調査を実施し、適正な利用がなされていない農地所有者等には是正指導を行った。 ・農業委員会広報紙で農地バンク制度及び利用権設定に関する周知を行い、農地バンクへの登録及び担い手への農地集積の斡旋を行った。 ・遊休農地の活用実証圃場の管理を行うとともに、有効利用の啓発活動に併せて、活動等をお手伝い頂く市民サポーターの募集を行い、農業委員と供に活動を行った。 ・遊休農地の活用実証圃場として、新たに三山木地区にジャバラの圃場開設を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の農地の利用状況調査を実施し、適正な利用がなされていない農地所有者等に対しては、法律に基づく利用意向調査を行った。 ・農業委員会広報紙で農地バンク制度及び利用権設定に関する周知を行い、農地バンクへの登録及び担い手への農地集積の斡旋を行った。 ・遊休農地の活用実証圃場（2箇所）の管理を行うとともに、有効利用の啓発活動に併せて、活動等をお手伝い頂く市民サポーターの募集を行い、農業委員と供に活動を行った。 <p>【完了】</p>
教育部	12	ボランティアの登用と人材バンクの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・市民、学生ボランティアや各種事業の運営ボランティアに対して、講習会を開催し育成を図る。 ・市民が活用しやすい人材バンクの情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 ・市民への人材バンクの情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・講習会の実施
				<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育指導者研修会及び家庭教育子育てセミナーへ参加した。 ・学びの情報誌秋号に人材バンク関連記事を掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進協力員、放課後子どもプラン指導者等を対象とした講演会等の研修会を実施した。 ・学びの情報誌に人材バンク関係記事を掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進協力員を対象とした研修会を実施した。 ・学びの情報誌へ人材バンク関係記事を掲載した。 <p>【完了】</p>

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
教育部	社会教育・スポーツ推進課	13	総合型スポーツクラブの育成 ・同志社大学の人材・施設を活用し、年間を通して活動するサークルの育成や内容の一層の充実を図る。	行動計画	・活動の充実 ・サークルの育成 ・広報の支援	・活動の充実 ・サークルの育成 ・広報の支援	・活動の充実 ・サークルの育成 ・広報の支援
				取組実績	・スポーツ教室開催について広報紙及びホームページへの掲載を行うとともに、小学校・幼稚園・保育所に対して、チラシの配付を行った。 ・全国小学生ハンドボール大会及び市ハンドボール交流大会等において、チアサークルの演技発表の場を提供した。	・学びの情報誌や広報紙において、教室開催の記事掲載を行った。 ・全国小学生ハンドボール大会及び市ハンドボール交流大会等において、チアサークルの演技発表の場を提供した。	・学びの情報誌や広報において、教室開催の記事掲載を行った。 ・市ハンドボール交流大会等において、チアサークルの演技発表の場を提供した。 【完了】
安心まちづくり室		14	自主防災組織等の育成指導 ・自主防災組織等の育成指導について、関係部署と調整を図り、訓練及び研修会を実施する。	行動計画	・年度計画ごとに実施	・年度計画ごとに実施	・年度計画ごとに実施
				取組実績	・避難所運営訓練、避難所運営机上訓練（HUG訓練）を開催した。 ・出前講座を実施した。 ・自主防災組織連絡会議を実施した。	・避難所運営演習、避難所一泊体験、避難所運営訓練、防災講演及び避難行動・避難所運営マニュアル説明会を開催した。 ・消防本部主催の水防訓練、出初式に参加した。 ・三野区、山手東自治会、山手南自治会（第2ブロック）において自主防災組織が設立された。 ・自主防災組織内でのリーダー育成のため、5名が防災士の認定を受けた。	・避難所運営訓練・一泊体験、防災講演を開催した。 ・消防本部主催の水防訓練、出初式に参加した。 ・自主防災組織内でのリーダー育成のため、5名が防災士の認定を受けた。 ・出前講座を実施した。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム		区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
企画政策部	秘書広報課	15 広報機能の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報アンケートの実施 ・ ツイッターの活用 ・ 市ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報アンケートの実施 ・ ツイッターの活用 ・ 市ホームページの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報アンケートの実施 ・ ツイッターの活用 ・ 市ホームページの充実
				<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙でのアンケートを実施した。 ・ 企画広報として、女子大生レポートや普賢寺小特集等を広報紙に掲載した。 ・ ツイッターを活用し、市ホームページ更新情報に加え取材情報等を発信した。 ・ 市ホームページの作成について、職員を対象に操作研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙でのアンケートを実施した。 ・ 企画広報として、学生を中心とするNPO「きゅうたなべ倶楽部」による、市の魅力紹介記事を広報紙に掲載した。 ・ ツイッター・フェイスブックを活用し、市ホームページ更新情報に加え、取材情報等の発信や施策のPRを行った。 ・ 市ホームページの作成について、職員を対象に操作研修を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画広報として、全国レベルで活躍する同志社大学の体育会学生を紹介する記事や、広報紙アンケートで関心が高かったツアー・オブ・ジャパン関連の記事を広報紙に連載した。 ・ 『くらしの便利帳』改訂版を発行し、行政・タウン情報を発信した。 ・ ツイッター・フェイスブックを活用し、市ホームページ更新情報・取材情報等の発信や施策のPRを行った。 ・ 職員を対象にホームページ作成研修を実施した。 <p>【完了】</p>
企画政策部	秘書広報課	16 広聴機能の充実		<ul style="list-style-type: none"> ・ eモニターの実施 ・ 茶々とサロンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ eモニターの実施 ・ 茶々とサロンの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ eモニターの実施 ・ 茶々とサロンの実施
				<ul style="list-style-type: none"> ・ eモニターの登録者を拡大した。 ・ 広報紙プレゼントクイズによるアンケート調査、茶々とサロンを実施した。 ・ 市民満足度調査として市民3000人を対象に実施し、市民ニーズの的確な把握に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ eモニターの登録者を拡大した。 ・ 広報紙プレゼントクイズによるアンケート調査、茶々とサロンを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ eモニターの登録者を拡大した。 ・ 茶々とサロン特別編として、新婚カップルを招き晩婚・少子化・子育てなどについて市長と語り合う「地方創生版・新婚さんいらっ茶〜い」を実施した。 <p>【完了】</p>

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
企画 政策部	秘書 広報課	17	広報紙配布方法の検討	行動計画	・市内スーパーにまちかど広報ボックスを設置・活用	・まちかど広報ボックスの活用	・まちかど広報ボックスの活用
				取組実績	・市内スーパー8店舗に広報ボックスを設置し、広報紙のほか議会だより、学びの情報誌、ごみカレンダー等の配架を開始した。	・市内スーパー8店舗に広報ボックスを設置し、広報紙のほか議会だより、学びの情報誌、ごみカレンダー等を配架した。 ・広報ボックスの設置場所を拡大し、市内のコンビニエンスストア全店舗に設置した。	・フェイスブックなどで広報ボックス設置箇所のPRを行った。 【完了】

0 1 市民と行政とのパートナーシップの構築				0 4 積極的な情報公開等			
------------------------	--	--	--	---------------	--	--	--

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務部	総務室	18	情報公開制度の充実 ・ 市政の透明性向上のため、会議の公開指針を策定する。 ・ 行政資料コーナーの配架資料を拡大し、新たな配架方法を検討する。	行動計画	・ 指針の施行 ・ 配架方法の検討	・ 指針の運用 ・ 新たな配架方法の実施・検証	・ 指針の運用 ・ 新たな配架方法の実施
				取組実績	・ 会議の公開指針を施行し、市ホームページへの公開要領等を策定した。 ・ 行政資料コーナーの設置、配架方法等について他市町村の状況を確認した。また、新たな資料や配架方法等の検討を行うため、コーナーにアンケートを設置した。	・ 会議の公開指針に基づき、各所属の開催状況の把握に努め、HPに掲載した。 ・ 行政資料コーナーの配架方法について、アンケート結果や他市の状況を参考に検討した。	・ 会議の公開指針に基づき、各所属の開催状況の把握に努め、HPに掲載した。 ・ 行政資料コーナーの配架方法について検討し、利用者が資料を容易に検索できるよう分野別に整理した。 【完了】
総務部	管財情報課	19	電子情報のセキュリティ強化 ・ コンピュータのネットワーク化と普及が進み電子情報が増加している中で、情報の管理、監視体制の強化を図る。	行動計画	・ 認証基盤の見直し	・ 新認証方式での運用開始 ・ 不正接続防止システムの更新	
				取組実績	・ 新認証方式について検討を行った。 ・ 指静脈による生体認証システムを導入し、一部で運用を開始した。	・ 新認証方式での本格運用を開始した。 ・ 不正接続防止関連機器更新が完了し、新機器での運用を開始した。 【完了】	

02 より質の高い行政サービスの提供	01 窓口サービスの向上
--------------------	--------------

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み			
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
市民部	市民年金課	20	窓口サービスの拡大	・市民サービス向上のため、住民票等の交付サービスの拡充を検討する。	行動計画	・コンビニ交付の検討及び近隣の実施状況の把握 ・他の交付サービスの周知徹底	・コンビニ交付の検討及び近隣の実施状況の把握 ・他の交付サービスの周知徹底	・調査に基づく検討結果のとりまとめ
					取組実績	・広報紙やホームページを通じて、本市の交付サービスの周知を行った。	・コンビニ交付の検討及び近隣の実施状況を把握した。 ・広報紙やホームページを通じて、本市の交付サービスの周知を行った。	・コンビニ交付の検討及び近隣の実施状況を把握した。 ・広報紙やホームページを通じて、本市の交付サービスの周知を行った。 【完了】
総務部、教育部	管財情報課、社会教育・スポーツ推進課	21	インターネット公共施設予約システムの導入	・インターネットを利用した公共施設予約システムを導入し、市民の利便性の向上を図る。	行動計画	・予約システムの導入	・予約システムの運用開始	・コミュニティホール等での予約システム運用開始
					取組実績	・予約システムの運用に向けた適用条件整理を行った。	・予約システム運用に向けた各種設定作業等を行った。	・コミュニティホールでの予約システムの運用を開始した。 ・中央公民館について、予約システムの運用を開始した。仮予約受付の環境を整備し、市民へ広報した。 ・有料公園施設について、H28の実施に向け指定管理者への指導・説明を開始した。 【完了】
市民部	市民政策推進室	22	窓口業務の時間延長	・昼休み窓口サービスのあり方を検討する。	行動計画	・事務内容の課題抽出 ・検討会議の設置	・サービスのあり方のとりまとめ ・方向性の決定	・方向性の決定
					取組実績	・検討会議を開催し、過去の取組み経過の確認及び今後の取り組み方針を検討した。	・近隣市町の状況調査の実施結果の確認と、本市の状況を検証した。	・2階の税務課と国保医療課については、職員が自主的に交代で昼窓を実施。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
消防本部 消防総務課	23	だれもが利用しやすい消防サービスの充実	・外国人からの119番通報に対応するため、本市国際交流員を講師として、外国語講習会を実施する。	行動計画	・外国語講習会の実施	・外国語講習会の実施	・外国語講習会の実施
				取組実績	・本市国際交流員等を講師として英語講習会を実施し、63名の消防職員が受講した。	・本市国際交流員等を講師として英語講習会を実施し、64名の消防職員が受講した。	・7月27日及び28日、本市国際交流員1名、外国語指導助手1名を講師として同じ内容の英語講習会を実施し、60名の消防職員が受講した。 【完了】
総務部 管財情報課	24	電子市役所の推進	・基幹情報システムの更新を図り、更なる省力化を進めるとともに、窓口サービスの向上を図る。	行動計画	・基幹システムを共同化へ移行（3次） ・財務会計システムの更新		
				取組実績	・基幹システムを本稼動した。 ・財務会計システムの更新を行い、予算編成システム、予算執行システムを順次稼働した。 【完了】		

02 より質の高い行政サービスの提供	02 サービスの公平性の確保と受益者負担の見直し
--------------------	--------------------------

所管 部 課		実行プログラム		区分	具体的な取り組み			
		コード	項 目		概 要	平成25年度	平成26年度	平成27年度
健康福祉部、 経済環境部、 教育部	高齢介護課、 清掃衛生課、 社会教育・スポーツ推進課	25	各種手数料の新規徴収	・老人福祉センターの利用料のあり方について検討する。 ・浄化槽汚泥処理手数料の新規徴収を検討する。 ・中央図書館ギャラリー使用料の新規徴収を検討する。 ・学校開放における体育館照明料について新規負担金を検討する。	行動計画	・新規徴収の検討	・検討した結果に基づき順次実施	・検討した結果に基づき順次実施
					取組実績	(高齢介護課) ・近隣7市町を対象に行った調査結果を基に、利用料のあり方について課題整理を行った。 (清掃衛生課) ・浄化槽汚泥処理手数料の新規徴収について、近隣の状況調査等により課題を抽出した。 (社会教育・スポーツ推進課) ・京田辺市立図書館協議会において、徴収に係る協議を行った。 ・体育館照明料徴収について検討した。	(高齢介護課) ・老人福祉センターについて、高齢者保健福祉計画で重点課題にあげている居場所づくりや生きがいづくりの拠点の一つとして、高齢者が利用しやすい土壌の育成を優先する方向で検討を進めた。 (清掃衛生課) ・浄化槽汚泥処理手数料を徴収するため、料金体系等の検討課題を整理した。 (社会教育・スポーツ推進課) ・他市における徴収状況の情報を収集した。 ・体育館照明料について、他市状況について調査するとともに、照明料の積算を行った。	(高齢介護課) ・老人福祉センター利用料について、利用者自身による施設運営への参加に向けた取り組みを重点課題とし、施設利用料の徴収を行わないこととした。 (清掃衛生課) ・浄化槽汚泥処理手数料の徴収方法及び料金体系並びに徴収時期について、整理検討を行った。 (社会教育・スポーツ推進課) ・中央図書館ギャラリーの使用料について、京田辺市文化振興計画の策定に伴い、今後、新たな文化施設の整備を含めた関係施設の利用について、その料金体系や減免基準等使用料のあり方を検討することとした。 ・体育館照明料について、各施設の利用状況を調査し、単価の設定など基本的事項の検討を行った。 【完了】
経済環境部	清掃衛生課	26	ごみ処理手数料の見直し	・ごみを減少させるため、ごみ処理手数料の対象範囲及び処理手数料について、社会情勢や近隣自治体との整合性などについて調査を実施し、改定等の必要がある場合には、随時見直しを行う。	行動計画	・他市等の調査 ・粗大ごみの有料化の検討	・粗大ごみ等の有料化の検討	・粗大ごみ等の有料化制度設計 ・条例改正
					取組実績	・京田辺市ごみ減量化推進委員会において粗大ごみ・持込ごみの有料化施策の有用性を協議し、市に提言された。	・粗大ごみ等の有料化に向けての制度設計の準備段階として、先進地事例の収集を行い、課題の整理を行った。	・新一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、「粗大ごみ」「持込ごみ」の有料化をごみ減量化重点施策として位置づけ制度設計を行った。 ・平成28年10月導入を目指し、廃掃条例の改正を行った。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
上下水道部	下水道課	27	下水道使用料の見直し ・下水道財政健全化のため、使用料改定原案の作成及び下水道財政健全化計画の策定を行う。	行動計画	・現状の分析	・公営企業会計導入に向けた業務委託の発注	・中期経営計画の策定 ・使用料改定の検討
				取組実績	・過去5年間の公共下水道事業の財政状況資料を作成した。 ・公営企業会計導入に向けた基本計画策定業務委託を実施した。	・公営企業会計導入に向けた業務委託を発注した。	・下水道の固定資産調査を実施した。 ・公営企業会計システムの構築を進めた。 ・経営健全化に向け、下水道使用料改定の検討を行うとともに、中期経営計画（経営戦略）の策定に着手した。 【一部完了】
建設部	計画交通課	28	市内駐輪場の有料化検討と無料駐輪場の適正使用 ・市内駐輪場の有料化を検討するとともに、市内無料駐輪場の適正な使用を推進するため使用ルールなどを定める管理マニュアルを作成する。	行動計画	・市内駐輪場有料化の検討 ・無料駐輪場管理マニュアル運用開始	・市内駐輪場有料化の検討	・田辺地区自転車等駐車場利用等適正化計画の策定 ・検討結果に基づいて実施
				取組実績	・有料化検討にあたり、無料駐輪場の利用台数や放置自転車の実態について調査を行った。 ・管理マニュアルに基づき、JR京田辺駅前の路上や馬坂川沿いの放置車両の撤去を行った。	・駐輪場有料化にあたり、必要となる用地確保へ向けた検討を行った。	・田辺地区自転車等駐車場利用等適正化計画の策定に係る事前現地調査を実施した。 【一部完了】

0 3 効率的な行財政運営				0 1 自主財源の確保			
所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民部 税務課	29	市税収納率の向上	・口座振替の推進 ・京都地方税機構との連携による収納率の向上	行動計画	・口座振替の推進 ・コンビニ収納の推進 ・税機構との連携による徴収	・口座振替の推進 ・コンビニ収納の推進 ・税機構との連携による徴収	・口座振替の推進 ・コンビニ収納の推進 ・税機構との連携による徴収
				取組実績	・口座振替納付の促進記事を広報紙に掲載した。 ・コンビニ収納の促進記事を広報紙に掲載した。	・口座振替納付の促進記事を広報紙やホームページに掲載した。 ・コンビニ収納の促進記事を広報紙やホームページに掲載した。	・口座振替納付の促進記事を広報紙やホームページに掲載するとともに、家屋評価時や市民税申告時に納税義務者に対して口座振替制度を案内した。 ・コンビニ収納の促進記事を広報紙やホームページに掲載した。 【完了】
市民部 国保医療課	30	国民健康保険税収納率の向上	・収納率の向上に取り組む。 ・京都地方税機構との連携による収納率の向上	行動計画	・口座振替の推進 ・税機構との連携による徴収	・口座振替の推進 ・税機構との連携による徴収	・口座振替の推進 ・税機構との連携による徴収
				取組実績	・口座振替納付の促進記事を広報紙に掲載した。 ・口座振替依頼書を年度当初の納税通知書に同封して納付書世帯に配布するとともに、国保への新規加入の届出時に口座振替依頼書を配布した。 ・コンビニ収納の促進記事、納付勧奨記事を広報紙に掲載した。	・口座振替納付の促進記事を広報紙に掲載した。 ・口座振替依頼書を年度当初の納税通知書に同封して納付書世帯に配布するとともに、国保への新規加入の届出時に口座振替依頼書を配布した。 ・コンビニ収納の促進記事、納付勧奨記事を広報紙に掲載した。	・口座振替納付の促進記事を広報紙に掲載した。（4月、6月、10月、2月） ・口座振替依頼書を年度当初（6月）の納税通知書に同封して納付書世帯に配布するとともに、国保への新規加入の届出時に口座振替依頼書を配布した。 ・コンビニ収納の促進記事（7月、9月、11月、1月）、納付勧奨記事を広報紙に掲載した。（7月～3月予定） 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
市民部 国保医療課	31	後期高齢者医療保険料収納率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率の向上に取り組む。 ・広報紙で制度及び納期の周知 	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・広報紙で納期等の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・広報紙で納期等の周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の推進 ・広報紙で納期等の周知
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新規被保険者に、被保険者証送付時及び納付書発送時に口座振替案内を同封した。 ・納付勧奨記事、制度案内記事を広報紙に掲載した。 ・年度途中の保険料等更正者に対して、納付方法変更の説明文書を送付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規資格取得者への保険料決定通知書発送時に口座振替の案内及び依頼書を同封した。 ・特別徴収中止で普通徴収の被保険者、及び督促状発送対象者への口座振替の案内及び依頼書を送付した。 ・納付勧奨記事、制度案内記事を広報紙に掲載した。 ・年度途中の保険料等更正者に対して、納付方法変更の説明文書を送付した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規資格取得者への保険料決定通知書発送時に口座振替の案内及び依頼書を同封した。 ・特別徴収中止で普通徴収の被保険者、及び滞納が続いている人への口座振替の案内。 ・広報紙掲載（7月：制度内容）（8月～3月：納期限の周知） ・滞納が続いている人へ連絡を取り制度の説明をし個別に対応を行った。 <p>【完了】</p>
健康福祉部 子育て支援課	32	保育所保育料収納率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率の向上に取り組む。 	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・所長面談を実施し、現年度の収納率向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・所長面談を実施し、現年度の収納率向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・所長面談を実施し、現年度の収納率向上を図る
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入所児童の保護者に対して、所長及び子育て支援課担当職員が面談を実施した。 ・滞納している保育料について、債務の承認書及び納付計画書を作成し、分納等による支払を促進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・所長面談を実施後、分割納付等による支払いを促進し、滞納者は保育所への直接納付を実施した。 ・滞納している保育料について、債務の承認書及び納付計画書を作成し、分納等による支払を促進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・徴収マニュアル整備に向けて法的整理手続きも含めての情報収集他、策定に向け着手。 ・面談及び電話による督促を実施、納付指導を行った。 <p>【完了】</p>
健康福祉部 高齢介護課	33	介護保険料収納率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険料納付に対する理解を求め、未納者を減少させ、徴収率アップを目指す。 	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・納付相談窓口の設置 ・未納者への戸別訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・納付相談窓口の設置 ・未納者への戸別訪問 	<ul style="list-style-type: none"> ・納付相談窓口の設置 ・未納者への戸別訪問
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター常磐苑及び宝生苑において、納付相談を実施した。 ・戸別訪問を随時実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター常磐苑及び宝生苑において、納付相談を実施した。 ・戸別訪問を随時実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人福祉センター常磐苑及び宝生苑、三山木福祉会館において、納付相談を実施した。 ・戸別訪問を随時実施した。 <p>【完了】</p>

所管 部 課	実行プログラム		区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目		平成25年度	平成26年度	平成27年度
建設部	開発指導課	34 市営住宅使用料徴収体制の強化		<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問等個別対応による督促、徴収 ・納付確約書、支払計画書の徴取 ・法的措置のマニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問等個別対応による督促、徴収 ・納付確約書、支払計画書の徴取 ・法的措置の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問等個別対応による督促、徴収 ・納付確約書、支払計画書の徴取
				<ul style="list-style-type: none"> ・電話・訪問等個別対応を実施した。 ・督促状を毎月、催告書を適時送付し、連帯人へも文書による通知を行った。 ・市顧問弁護士への相談及び滞納整理等に関する研修を受講し、法的措置マニュアルを作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話・訪問等個別対応を実施した。 ・督促状を毎月、催告書を適時送付し、連帯人へも文書による通知を行った。 ・滞納整理等に関する研修を受講した。 ・状況の改善が見られない滞納者に対し市営住宅の明け渡しを請求した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話・訪問等個別対応を実施した。 ・督促状を毎月、催告書を適時送付し、連帯人へも文書による通知を行った。 ・状況の改善が見られない滞納者について、本人、連帯人及び市担当者の3者で協議し、直接関係者に督促した。 <p>【完了】</p>
教育部	学校教育課	35 幼稚園保育料収納率の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問による督促、徴収 ・誓約書の徴取 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問による督促、徴収 ・誓約書の徴取 	<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問による督促、徴収 ・誓約書の徴取
				<ul style="list-style-type: none"> ・電話や訪問による督促、徴収を実施した。 ・一度に納入できない分割納入者から誓約書を徴取した。 ・幼稚園と連携し、園長からの納付書の手渡しなどを実施し、滞納防止を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園長を、分任出納員に任命した。 ・電話や訪問・郵送により督促・催告、徴収を実施した。 ・幼稚園と連携し、園長からの納付書の手渡しなどを実施し、滞納防止を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各幼稚園長を分任出納員に任命した。 ・期限経過後1月以内に電話及び降園時に園長から納付を依頼した。 ・期限経過後1月超後は督促を行った。 ・口座振替を促進した。 <p>【完了】</p>
総務部	管財情報課	36 普通財産の活用方針作成と処分		<ul style="list-style-type: none"> ・調査、検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・活用方針等の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・財産の有効活用 ・財産売却処分
				<ul style="list-style-type: none"> ・近隣市の取組状況調査を行った。 ・一般競争入札により市有地1筆を売却した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産の活用方針を策定した。 ・一般競争入札により市有地1筆を売却した。 	<p>地元自治会と協議した。</p> <p>方針作成完了により、今後はその方針に基づき売却する。</p> <p>【完了】</p>

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
建設部	三山木整備室	37	保留地処分の推進	行動計画	・保留地処分	・保留地処分	・保留地処分
				取組実績	・保留地処分に関する規則を制定した。 ・保留地3画地について、一般競争入札による売却を行った。	・保留地4画地について、一般競争入札による売却を行った	・保留地7画地について、一般競争入札による売却を行った。 【完了】
経済環境部	産業振興課	38	企業誘致と中小企業支援	行動計画	・立地優遇制度の検討 ・各種中小企業支援	・立地優遇制度の検討 ・積極的な誘致活動 ・各種中小企業支援	・立地優遇制度の検討 ・積極的な誘致活動 ・各種中小企業支援
				取組実績	・近隣市町等企業立地優遇施策一覧表を作成し、企業誘致体制の必要性や最新の立地優遇施策の動向を把握した。 ・新製品開発や展示会等の出展に対して、中小企業成長支援事業補助金を交付した。	・学研4市町で企業誘致合同ブースを出展した。 ・京都府と連携した東京誘致活動を実施した。 ・中小企業の競争力強化を目的に、新製品開発、展示会出展、特許取得等の事業への補助金を交付した。 ・国内外の大規模展示会に市内企業合同出展を企画、実施した。	・学研4市町で企業誘致合同ブースを出展した。 ・京都府と連携した誘致活動を実施した。 ・中小企業の競争力強化を目的に、新製品開発、展示会出展、特許取得、人材確保等の事業への補助金を交付した。 ・国内外の大規模展示会に市内企業合同出展を企画、実施した。 ・立地優遇制度について、良好な交通アクセスから本市への企業の進出意欲は高く、現時点では新たな制度の構築の必要性は低いとの結論に至った。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
経済 環境 部	産業 振興 課	39	産、学、 官による 新たなビ ジネスモ デルの育 成	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携コー ディネーター活 用、産学の連携促 進 ・起業家育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携コー ディネーター活 用、産学の連携促 進 ・起業家育成支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携コー ディネーター活 用、産学の連携促 進 ・起業家育成支援
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携コー ディネーターを活 用して、企業訪 問、技術相談、D- egg入居者のサポ ートを行った。 ・D-egg入居支援事 業補助金を交付し た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携コー ディネーターを活 用して、企業訪 問、技術相談、D- egg入居者のサポ ートを行った。 ・D-egg入居支援事 業補助金を交付し た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・産学連携コー ディネーターを活 用して、企業訪 問、技術相談、D- egg入居者のサポ ートを行った。 ・D-egg入居支援事 業補助金を交付し た。 ・D-egg退去後、市 内へ立地企業への 補助金を交付し た。 <p>【完了】</p>

03 効率的な行財政運営					02 歳出の抑制		
所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務部 管財情報課	40	消耗品の削減と一元化	・庁内で共通に使用する消耗品の品目を拡大し、単価契約により、経費の削減を目指す。	行動計画	・調査、研究	・単価契約の対象品目の拡充	・運用開始 ・単価契約の対象品目の拡充
				取組実績	・消耗品の購入状況調査により、単価契約対象品目の調査を行った。	・平成27年度の単価契約対象品目を選定した。	対象品目を選定し、拡充も検討したが、現時点でも通常より安価で購入でき、又、同一品目の大量購入がないため単価契約の必要性がないことが判明した。 【完了】
経済環境部 環境課	41	エコオフィスの推進	・京田辺市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の公共施設が率先して温室効果ガスの排出量を削減することにより、エコオフィス化を目指す。	行動計画	・計画に基づき省エネ節電対策等を実施	・計画に基づき省エネ節電対策等を実施	・計画に基づき省エネ節電対策等を実施
				取組実績	・庁内対策検討会議を開催し、省エネ節電を実践した。 ・夏と冬のエコスタイルキャンペーン、夏季庁舎ライトダウンを行うとともに、年間を通じてノー残業デーを実施した。	・庁内対策検討会議を開催し、省エネ節電を実践した。 ・夏と冬のエコスタイルキャンペーンを行うとともに、各施設でのグリーンカーテンの栽培、ひと涼みスポットの設置、夏季庁舎ライトダウン等を実施した。 ・年間を通じてノー残業デーを実施した。	・庁内対策検討会議を開催し、省エネ節電を実践した。 ・夏と冬のエコスタイルキャンペーンを行うとともに、各施設でのグリーンカーテンの栽培、ひと涼みスポットの設置、夏季庁舎ライトダウン等を実施した。 ・年間を通じてノー残業デーを実施した。 【完了】
建設部 施設管理課	42	橋梁、公園の修繕コスト削減	・従来の事後的な修繕及び架け替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへの転換を図ることにより必要コストの軽減を図るため、橋梁及び公園の長寿命化修繕計画を策定する。	行動計画	・橋梁長寿命化修繕計画策定 ・公園施設長寿命化計画策定	・修繕等実施	・修繕等実施
				取組実績	・橋長2m以上15m未満の橋梁173橋について、修繕計画を策定した。 ・市内161公園施設の長寿命化計画を策定した。	・7橋の修繕設計を実施した。 ・市内13公園の遊具21基を更新した。	・橋梁については、5橋の修繕工事と3橋の修繕設計を実施した。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム		区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要	平成25年度	平成26年度	平成27年度
建設部	開発指導課	43	市営住宅の修繕コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の長寿命化修繕計画を策定し、実行する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・策定計画に基づく年次事業計画の策定 ・市営住宅耐震補強工事（谷ノ上団地） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅耐震補強工事（西羅団地）
					<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅耐震補強工事（南山団地） 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅耐震補強工事（南山団地）
上下水道部	下水道課	44	公共下水道の修繕コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道の長寿命化修繕計画を策定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年次事業計画を策定した。 ・谷ノ上団地の耐震補強工事を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・西羅団地の耐震補強工事を実施した。
					<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画策定 ・長寿命化システム構築 ・長寿命化事業申請 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業採択（国、府との調整）
				<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画策定を完了した。 ・下水道台帳システム、下水道台帳データ、下水道ストックマネジメントシステム構築を完了した。 ・長寿命化事業申請書を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化計画について、国・府との計画の協議を完了し、事業が認められた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南山団地の耐震補強工事を実施した。
					<ul style="list-style-type: none"> ・松井ヶ丘地区及び同志社住宅地区における公共下水道の長寿命化詳細設計を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化詳細設計

03 効率的な行財政運営				03 事務事業の効率化、適正化			
所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
上下水道部	下水道課	45	農業集落排水の公共下水道への接続検討	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物占有者との協議 経済比較による検討 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協議 経済比較による検討 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関との協議
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 地下埋設物占有者である大阪ガスとの協議を行った。 経済比較による検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 京都府との協議、経済比較の検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 洛南浄化センター建設負担金や補助事業の範囲等について、京都府と協議を行い課題を整理した。 【完了】
教育部	教育総務室	46	市立幼稚園のあり方の検討	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園の活性化策の決定 	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園のあり方の検討 市立幼稚園の活性化に向けた取組 	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園のあり方の検討 市立幼稚園の活性化に向けた取組
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園の活性化に向けた取組として、預かり保育受け入れ要件の緩和、就労サポート型預かり保育の試行準備、園庭開放、PRパンフレットの作成、園児募集スケジュール前倒しなどを実施した。 幼保連携推進会議を開催し、合同研修会の実施などについて協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 松井ヶ丘幼稚園において、実施日・実施時間を拡大した就労サポート型預かり保育の試行を開始した。 3歳児の保育時間の延長、市立幼稚園全園での預かり保育の実施日・実施時間の拡大を決定し、園児募集を行った 幼保の連携に向け、幼稚園教諭と保育士の合同研修会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 市立幼稚園全園で3歳児の保育時間を延長するとともに、預かり保育の実施日・実施時間を拡大した。 幼保の連携に向け、幼稚園教諭と保育士の合同研修会を実施した（2回） 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務部 総務室	47	文書管理の適正化	・文書の整理、保管、保存及び廃棄サイクルに関して、文書管理システムを導入することにより、文書管理の一層の適正化を図る。	行動計画	・文書管理システムの導入準備		
				取組実績	・平成26年度からの文書管理システムの導入に向けて、運用ルールの整理、操作研修等の導入準備を行うとともに、全庁で試行した。 【完了】		
企画政策部 企画調整室	48	行政評価の充実	・事務事業の効率性を確保するため、事務事業評価を実施する。	行動計画	・庁内2次評価の実施	・庁内2次評価の実施	・庁内2次評価の実施
				取組実績	・庁内2次評価について、各課への依頼、取りまとめを行った上で、事務事業評価結果報告書を作成した。	・庁内2次評価について、各課への依頼、取りまとめを行った上で、事務事業評価結果報告書を作成した	・庁内2次評価について、各課への依頼、取りまとめを行った上で、事務事業評価結果報告書を作成した。 【完了】
経済環境部 ごみ広域処理推進課	49	ごみ処理後継施設の検討	・ごみ焼却施設の老朽化に伴う更新を検討する。 ・方向性の検討を踏まえ、循環型社会形成推進地域計画策定を検討する。	行動計画	・方向性の検討 ・循環型社会形成推進地域計画策定の検討	・循環型社会形成推進地域計画の策定	・施設整備基本計画の策定
				取組実績	・ごみ焼却施設の更新に係る方向性の検討を行った。	・ごみ処理施設整備基本構想を策定した。 ・循環型社会形成推進地域計画を策定した。	・可燃ごみ広域処理施設整備基本計画を策定した。 【完了】

0 3 効率的な行財政運営				0 4 民間委託等の推進				
所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み			
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度	
経済環境部	清掃衛生課	50	ごみ収集処理体制の検討	・ごみ収集処理体制の効率化について検討する。	行動計画	・分別収集区分の調査、課題等の抽出	・効率的なごみ収集処理体制のあり方検討	・収集運搬・中間処理方法等を検討
					取組実績	・分別区分の調査、課題等の抽出を行った。	・ごみ減量化推進審議会答申並びにごみ処理施設整備基本構想において、今後の分別収集するごみの種類及びその区分整理を行った。	・新一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定し、「容器包装プラスチック」「紙類」の分別収集をごみ減量化重点施策として位置づけ制度設計を行った。 【完了】
教育部	社会教育・スポーツ推進課	51	指定管理者制度の導入検討	・野外活動センター等の管理運営について、指定管理者制度等の民間活力の導入を検討する。	行動計画	・方向性の検討	・方向性の検討	・検討結果とりまとめ
					取組実績	・近隣市における民間活力導入の事例について、調査を行った。	・近隣の同様の施設について、運営状況の調査を行った。	・今後の施設の運営方法について、新たな方向性に基づいて、検討課題を整理することにした。 【一部完了】

03 効率的な行財政運営				05 職員が能力を発揮できる環境づくり			
所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務部 職員課	52	各種手当の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務縮減対策を実施する。 ・管理職手当の支給水準を調査し、必要に応じて見直しを行う。 	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務縮減対策の実施 ・管理職手当の見直し検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務縮減対策の実施 ・管理職手当の支給水準の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務縮減対策の実施 ・管理職手当の支給水準の調査
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務縮減に向けて、職員階層ごとの役割、個人ごとの目標時間の通知、手続きの見直しなどの取組みを行った。 ・ノー残業デーについて、手続き及び対象日の継続的な周知を実施するなど、取組みを強化した。 ・管理職手当については、他市町の状況調査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度までの取組を継続するとともに、新たに長時間勤務申告書を導入し、長時間勤務者が発生した所属の長は、対象者ごとに要因と今後の対策を記載した申告書の提出をすることとした。 ・管理職手当については、他市町村等の状況調査を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各部局によるノー残業デーの徹底及びノー残業デーの拡大を実施した。 ・部局ごとの長時間勤務者の削減目標設定を実施し、目標に基づく管理を開始した。 ・管理職手当については、他市の状況調査を行った。 見直しを検討した結果、今年度は改定を見送ることとした。 【完了】
企画政策部 企画調整室	53	職員提案制度等の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の行政運営への参画意欲と事務効率の向上を目的とする職員提案制度の活性化を図る。 	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度の改善・実施 ・政策提案制度の創設 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度の実施 ・政策提案制度の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度の実施 ・政策提案制度の実施
				取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度については、アイデア提案7件の提出があった。 ・政策提案制度実施要綱を策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度については、アイデア提案7件の提出があった。 ・政策提案制度としてサマーレビューを実施し、26件の提出があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員提案制度については、5件のアイデア提案、1件の事務改善報告の提出があった。 ・政策提案制度として、市長マニフェスト、施政方針に位置づけた主要政策・施策について、各部局からの実施内容の提案を行った。 【完了】

所管 部 課	実行プログラム			区分	具体的な取り組み		
	コード	項 目	概 要		平成25年度	平成26年度	平成27年度
総務部 職員課	54	人事評価制度の実施	・人材育成基本方針に基づき、人事評価制度を本格実施し、給与に反映する。	行動計画	・ 6 月、1 2 月の勤勉手当に反映 ・ 1 月の昇給に反映		
				取組実績	・ 人事評価の結果を、平成 2 5 年 6 月及び 1 2 月の勤勉手当、平成 2 6 年 1 月の昇給に反映した。 【完了】		
総務部 職員課	55	接遇マニュアルの改訂	・人材育成基本方針に基づき、接遇マニュアルの改訂版を作成する。	行動計画	・ 接遇マニュアル（人材育成編、健康管理編）の改訂完了及び周知		
				取組実績	・ 接遇マニュアル改訂を完了し、庁内掲示板（イントラネット）により周知した。また毎月 1 回発行しているキララアップ通信において、順次周知した。 【完了】		